

看護実践振り返りシート

ブリーフィング・リハーサル 患者情報から、患者の病状を想定した看護ケアをリハーサルする。
患者と会う前に急変につながる症状の最初の変化を予測する。

患者のところに行く パッと見た瞬間に意識があるかどうか（開眼・表情・体動の有無）を判断し、意識がある場合は、患者に近づきながら、患者の全体観察（6項目）を行い前回と変化があるかどうかを判断する。

患者に接する 患者に触れて病状を初期評価する。変化があるかないか、変化の懸念はないか判断する。

看護を実践する 患者に必要な看護を選択し実践する。

報告・記録 実施した看護を記録（SOAP）・報告（I-SBAR-C）する。

デブリーフィング・振り返り 実践できた看護は何か、次に活かせる看護は何かを振り返る。